



カムカム通信

訪問歯科診療ニュース

「カムカム通信は」訪問歯科診療の普及をめざし、SOSデンティストより発行しています。

噛む噛む 通信

2005.12
Vol.

30

SOS DENTIST

発行/SOSデンティスト
日本訪問歯科協会
〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町1-2-16
瀧田ビル3F
TEL:03(5623)3651
FAX:03(5623)1119

通院困難な方の歯科に関するお問い合わせはこちらまで... ☎ 0120-099-505

かむかむ COME COME 倶楽部

小集団の個別対応で「利用者様一人ひとりのワガママがきく施設」をめざす、デイサービスセンター「アグリ」(埼玉県所沢市)では、高齢者の自立支援と介護家族の支援の二環として、歯科の定期検診をはじめとする口腔ケアを取り入れています。

介護予防3本柱の一つとして 口腔ケアを導入



社会福祉法人どんぐりの園
デイサービスセンター「アグリ」
管理者/大沢 直樹さん

当施設では、「身体機能の改善」「栄養指導」「口腔ケア」を3本柱として介護予防に積極的に取り組んでいます。身体機能の改善は作業療法士と専門指導を受けた職員2名が担当しています。栄養指導は栄養士の資格をもつ介護士が担当し、食事も普通食・刻み食・ミキサー食など一人ひとりの状態に合わせて工夫しています。

そして口腔ケアは、日本訪問歯科協会のバックアップで、4年前から年1回の定期歯科検診を行い、希望があれば訪問歯科

診療もご紹介します。

歯科検診の受診者は年々増え、一度受けたらよかったです。また受けようというリピーターの方が多いようです。けれど、デイサービス全体の利用者数からみれば、まだ3割くらいです。さらに受診者が増えるように、定期検診や口腔ケアのメリットをもっとご家族の方にお伝えしていきたいと思えます。

そのためには、口腔ケアに関する職員のスキルアップも必要だと思つので、協会にもご協力いただき、職員向けの勉強会などもぜひ実現させたいと考えています。

訪問歯科診療の メリットを多くの方に 知っていただきたい

看護師/小竹 則子さん

デイサービスでは、お食事前にはレクリエーションの一環として、お口のリハビリ体操を取り入れて

います。また、食後はうがいを行行し、入れ歯を洗うお手伝いもします。

入れ歯と歯茎の間に薬の顆粒が1粒はさまっただけでも不快なものです。合わない、嫌だからと、入れ歯を捨ててしまう方もいるんです。ご家族の方が、「入れ歯をはめて出かれました」とお手紙を添えてくださることもあり、私もお口を気をつけて見るようにしています。

訪問歯科診療は対応が早いので助かります。ある方は、入れ歯と接する歯肉に傷ができていたことが検診でわかりました。ご家族に報告したところ往診を希望されたので依頼したら、翌日には往診に来てくれたそうです。痛みで食欲が落ちていたけど、また食べられるようになったと、お礼の言葉をいただきました。電話1本でこんなに早くお口の問題が解決するなんて、ご紹介した甲斐があったとうれしくなります。

けれども、訪問歯科診療がまだあまり知られていないのが残念です。歯科の治療にはいろいろな器具が必要なので、往診でどんなふうに治療するのか想像がつかない方も多いんだと思います。

でも、実際には往診でも診療室と同じ治療が受けられる。そのあたりを協会にももっと積極的にアピールしていただきたいですね。便利だとわかれば、さらに利用される方は増えると思います。

今日から始める、簡単お口のケア! アドバイス

食べやすい 食事の工夫 「刻み食」と「とろみ」

歯が弱くなり、噛む力が衰えた高齢者に、食材を細かくする「刻み食」を提供することもあります。

確かに大きさを形を変えることも飲み込みやすくなる工夫の一つです。けれども、舌の動きがあまりよくない人や飲み込みに問題がある人にとっては、刻み食は一見食べやすそうに見えても逆効果になることがあります。

食べ物は噛むことで唾液とまざりあって飲みやすくなり、まろみですが、刻んだ食材は口の中でまとまりにくいので、食片が口の中に残りやすくなります。それを何かの拍子に気管に吸い込んでしまい、むせや誤嚥の原因になることもあるのです。

舌の動きや飲み込みに問題がある人には、食材をやわらかく煮たり、とろみをつけたり、ムース状にしたりなど、かたさに考慮することが大切で、そのほうが細かく刻むよりも効果的です。

高齢者一人ひとりの状態をしっかりと把握して、おいしく安全に食事を楽しめる工夫をしてください。